



◀▼2月17日、比江の紀氏邸跡を会場に、土佐日記門出のまつりが開催されました。これは、土佐国司を4年間務め、「土佐日記」を記した紀貫之の功績を称えようとしているもので今回で12回目になります。

あいにくの雨の中100人以上が参加。注要のあと、国府小児童らの土佐日記朗読、まほろば囃子などが奉納されました。また、会場では紀貫之や国府史跡にちなんだ俳句、短歌の展示、そばがゆやお茶のナービスもありました。



南国市俳句大会



◀二月十一日、大蔵公民館を会場に、南国市俳句大会が行われました。市内外から寄せられた約四百三十句を参加者らが審査。市長賞、議長賞ら各賞が決定。また、味元昭次氏による「佳句の楽しみ」句集『龍鼓』『河口原』を流し、「と題した講演もありました。」

▼2月16日、後免野田小で家庭教育学級の一環として、和楽器と洋楽器のアンサンブルグループ・シーズンの「春に奏でる」と題したコンサートが行われました。

家庭教育学級は、親子がふれあい、一緒に学習することできずなを深めると共に、地域全体の活性化につなげようと、市内の小学校4校で行われています。



▲2月11日、香長中学校を発着点に、南国市専攻走大会が行われました。この日参加したのは、中学校、高校・大学、女子、一般の各部門に45チームが参加。日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。



◀二月十日、赤ヶ池グラウンドで市長杯グレートボール大会が開催され、参加した二十二チームは熱戦を展開しました。

▶2月6日、保健福祉センターで知的障害者の授産施設「なんこく共同作業所」の所員を対象にした料理教室が行われました。

同作業所では、少しでも自立の役に立てばと、日ごろから簡単な料理教室は行っていましたが、この日は設備の整った保健福祉センターに会場を移し、鶏肉の和風おろし添え、ほうれん草とシメジの中華あえなど、本格的な料理に挑戦。普段包丁を握る機会の少ない所員らは、慣れない手つきながらも楽しそうに料理を作りました。できあがりも上々とあって評判がよく、これからも2か月に1回開く予定です。



◀一月一日付けで、土佐山田町から南国市の仲間入りをした愛媛県島地区の歓迎会が同二十五日に行われました。参加したのは町田土佐山田町長、浜田町長をはじめ、約四十人ほど。町田町長は「嫁に出す気分がさみしいが、南国市と共に発展してほしい」と送別の言葉を述べました。

▼春の風物詩、国分川の芝焼きが2月4日に行われました。これは「国分川をきれいにする会」などが行っているもので、この日集まった市民らは約600人。冷え込みが厳しかったものの、参加者はカマを手に芝を刈りながら、河川敷を清掃。その後、火が付けられ枯れ草は因こ。すっきりした国分川は本格的な春を迎える準備が整いました。



▲高知空港施設変更予定告示を受け、航空法の手続きとして公聴会が、1月25日、運輸省の主催で行われました。これは、運輸省が施設変更告示の判断の参考にするためのもので、約100人の傍聴者が見守る中、12人が賛成、2人が反対の立場から意見を述べました。



▲好天に恵まれた1月21日、市体育協会などの主催で、南国市ロードレース大会が開催されました。廿枝の県農業技術センター周辺で行われたレースには、中学生、高校生を含めた171人が参加、健闘を競いました。